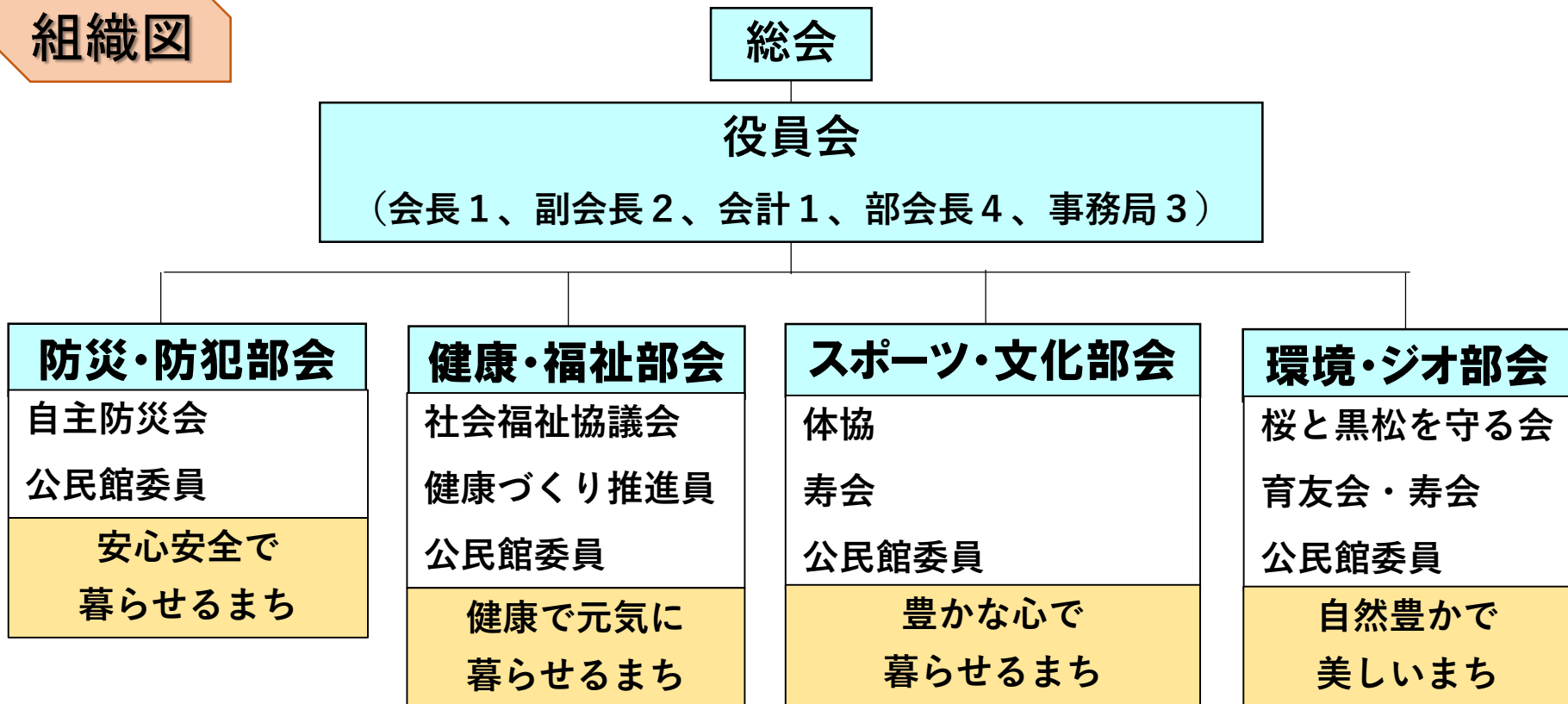




組織図



○取組内容

・令和6年まで試行錯誤を繰り返し、これまでどおり公民館活動を活性化しながら、各種団体の横の繋がりを更に密にし、湊地区の住民の安心安全な暮らしづくりのため、よりよい町づくりを目指す。

★工夫したポイント★

- ・会議は効率よく減らし、効果的な運営を。
- ・役職の重複は避ける。

○成果・課題・展開

- ・環境美化を地区全体で取り組む。
- ・福祉施策へ力を注ぎ健康な暮らしの維持。



事例① オールみなと小舞子海岸清掃（環境・ジオ部会）



○取組内容

・住民全員を対象に取り組みを拡大し、清掃活動を実施。

★工夫したポイント★

・市の海岸清掃に日程を合わせた。

○成果・課題・展開

成果

・地域での清掃活動に対する意識が高まった。

課題

- ・幅広い年齢層での参加があったが、若者世代の参加が少ない。
- ・分別や粗大ごみの運搬が困難。



事例② 安否確認災害訓練（防災・防犯部会）



▲無事を知らせる黄色いタオル

○取組内容

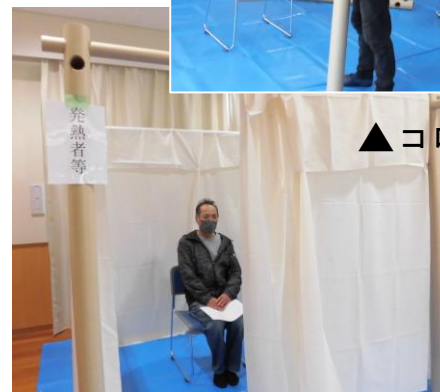
- ・黄色いタオルによる安否確認訓練。
- ・要介護者およびコロナ感染者を想定した避難所の解説。

★工夫したポイント★

- ・町内会を絞って小規模で開催した。



▲コロナ対応避難所開設訓練



○成果・課題・展開

- ・成果
 - ・初めての取り組みであったが、参加率が高かった。（参加率80%）
 - ・防災会、区長、班長等の役割分担が見えてきた。
- 課題
- ・救援グループの明確化が必要。
 - ・災害時の人的配置や係分担。
 - ・市危機管理課との共通理解。



事例③ 湊地域分析シートの作製

湊地域分析シート（地域カルテ）令和4年

※市民協働で創るまちづくり（湊地区コミュニティ組織設立）で話題となった事項

◆まち地域を知る

地域の現状・更替・特長（これから最先順位をつけて具体的な実践が必要）

- 買い物ができる店舗が軒も無い一帯り感があまりない
- 少子高齢化が進んでいる
- 空き地空き家が増え雑草が生え景観が悪くなっている一帯がやるべき
- 役員のみならずボランティア、役職が重複している
- 海岸、河川、公園等の施設が壊れて、活用されていない
- 若者、女性の話を聞く機会が無い

地域の資源や宝（機能しているまたは、活用できること）

ヒト（若者、女性の参画を考える必要あり）

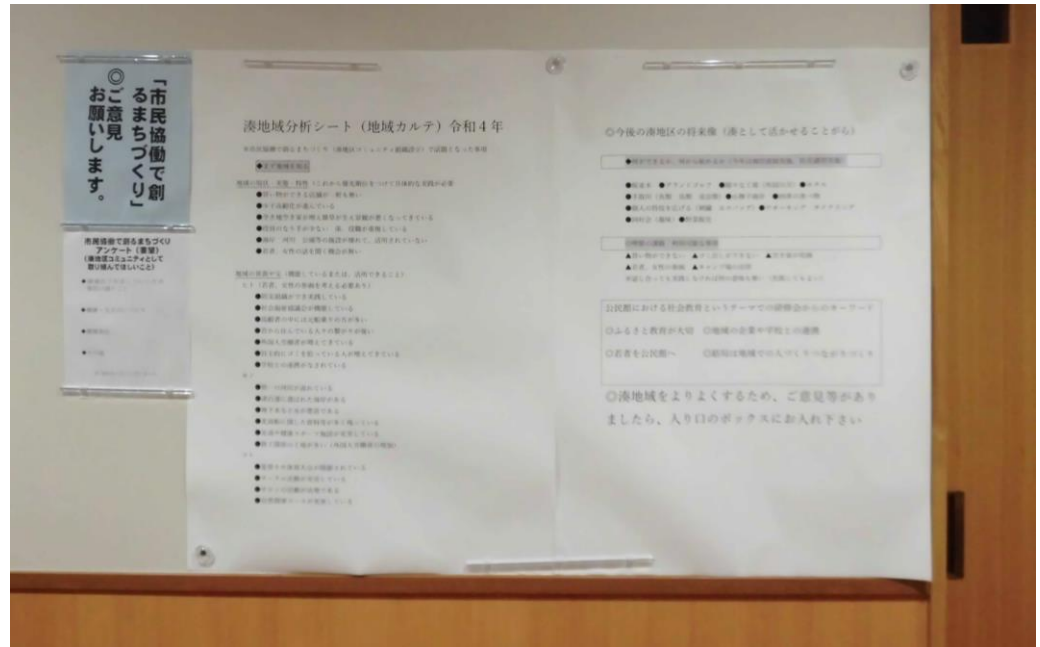
- 防災組織ができ実践している
- 社会福祉協議会が機能している
- 高齢者の中には元船乗りの方が多い
- 昔から住んでいる人々の繋がりが強い
- 外国労働者が増えている
- 自主的にゴミを拾っている人が増えてきている
- 学校との連携がなされている

モノ

- 唯一の河川が流れている
- 渚百選に選ばれた海岸がある
- 地下水など水が豊富である
- 北前船に関する資料が多く残っている
- 児童や健康スポーツ施設が充実している
- 鉄工関係の工場が多い（外国人労働者の増加）

コト

- 夏祭りや体育大会が開催されている
- サークル活動が充実している
- サロンの活動が活発である
- 自然探検コースが充実している



▲地区カルテを公民館に掲示

○成果・課題・展開

- ・4部会の横のつながりが見えてきた。
- ・各部会の仕事内容が明確化されつつある。
- ・公民館行事と各部会行事のすり合わせが出来つつある。